

平成28年 第15回 大山町教育委員会 議事録

日 時 : 平成28年12月26日 (月)

午前9時30分～

場 所 : 大山公民館 第1会議室

出席委員

1番	金田吉人	2番	湊谷紀子	3番	林原浩子 (欠)
4番	山根 浩	5番	伊澤百子		

その他の出席者 教育次長、幼児・学校教育課長、人権・社会教育課長、
幼児・学校教育課担当

参観人 0人

日 程

1. 開会宣言 (午前9時30分)

委員長 ただいまから第15回目の大山町教育委員会を開会する。
日程については、配布資料のとおりである。

2. 議事日程の報告

委員長 会議時間については、午前9時30分から終了目標を午前10時30分とした
い。

日程第1 会議時間の決定

自 午前9時30分 至 午前10時30分

日程第2 教育長報告並びに連絡事項

教育長 11月27日から12月26日までの報告事項、平成29年1月3日までの今後の
予定について説明。

- 11月28日には、第2回西部町村就学支援委員会が米子市で行われた。小学校
新入生が対象で、本町からは4人について審議を受けたが全員が認められた。
- 29日には、鳥取県教育研究大会に出席した。大会でアクティブ・ラーニングを
取り上げていたが、アクティブ・ラーニングという言葉だけが先行している感じが
する。いろいろな授業研究を積み重ねながら、試行錯誤の結果アクティブ・ラー
ニングという授業手法につながることになる。児童生徒が自ら考え、課題を解決する
力を養うことは大事である。
- 30日には、大山町総合文化祭第4回実行委員会が開催され、来年度の開催場所
は大山地区、期日は10月28日、29日に決定した。

- 12月2日には、在宅育児支援事業に関する検討を行った。この事業は保育所に入所しないで家庭で子どもを育てる方を対象とした支援金で、来年度は対象幼児を2歳まで延長する予定である。また来年度から全国的にも先駆けであるこの支援金に県の補助を受けることになっている。子育てについて、2歳まではそれぞれの家庭で育てていただいた方が子どもにとってもよいというメッセージでもある。
- 4日には、大山中学校を会場に片木アルミニウム杯青少年剣道大会が開催され、西部地区から163人の小中学生の参加があった。この大会の良さは、この大会に参加していた先輩たちが大きくなってまた大会にもどって審判をしていたり、保護者会が熱心にこの大会を支えたりしていることである。
- 12日には、「子育ての旅」修了式に出席した。今回は10人の方が年3回すべて参加していて、この「子育ての旅」の修了者がそれぞれグループをつくりつながっている。今後に期待がもてる。
- 19日には、平成28年度末人事異動に係る校長ヒアリングを行った。年度末の人事異動について、構想の段階ではあるがヒアリングしたものである。
- 25日は、大山町人権・同和教育研究大会が開催され、上映された映画はインクルーシブに関するものだった。すべての場面でインクルーシブ教育がよいということではなく、ケースバイケースである。インクルーシブ教育は簡単ではなく、成果はなかなか見えないものだと思う。
- 1月3日には、成人式を予定している。年始早々であるが出席をお願いしたい。

委員長 先ほどまでの報告事項のなかで補足はないか。また委員さんから何か意見等があるか。

幼児・学校教育課長 在宅育児支援事業は、生後8週間を超えて1歳になるまでの乳児を家庭で保育する保護者に給付金を支給するもので、来年度から2歳まで対象を延長するよう予定している。県は平成29年度から給付金を支給する市町村に補助制度を新設する予定であり、補助率は上限13,000円(月額)の1/2であるが、大山町の給付額は月30,000円なので1/4程度の補助となる見込みである。県内でこの給付金制度があるのは本町以外で若桜、三朝、湯梨浜、琴浦、伯耆の5町である。この制度により今まで以上に愛着感情の定着につながればと期待している。

教育次長 この事業を実施するにあたりアンケート調査を行ったが、自由記述で保育所に入所している家庭には何のメリットもないという内容の意見が多く書かれていた。これまでは保育所に対してのみ多額の予算を投入してきたが、在宅保育の人には特に助成等を設けていなかった。そういった方に初めて目を向けた制度であり、事業の本当の主旨を理解していただきたい。

委員長 その他みなさんから質問、意見等ないか。ないようであれば今月実施された町内保育所の生活発表会を参観された委員さんから感想を述べていただきたい。

委員 大山、中山みどりの森、名和さくらの丘保育園の生活発表会を参観させていただいた。まず保育所の規模が大きく人数の多いところは非常に迫力があったと感じた。人数が多いというのは、このような発表会では生きてくると思った。

中山みどりの森保育園は先生方がひとつになってよくまとまっているとてもよい保育園という印象を持った。足が不自由な子どもについてずっと注目してきたが、動きがスムーズになってきている。先生・周りの子どもの配慮を見て温かい気持ちになった。課題を抱えた子どもがどんどん変わっていくのは見ていて感動的であり、周りの子どもたちの受入等非常にうまくいっていると思う。

委員 名和さくらの丘、大山きゃらぼく保育園の生活発表会を参観させていただいた。名和さくらの丘保育園は会場が狭く感じるくらい保護者、地域の人がたくさん来ていた。進行がスムーズでしっかり練習できていると感じた。

大山きゃらぼく保育園も保護者や議員がたくさん参観していた。年少から年が大きくなるにつれ成長しているのがはっきりわかった。チームワークよくきびきびとした動きが印象的だった。

委員長 名和さくらの丘保育園の生活発表会を参観し、園長がいつも定位置におられ動かない。ここに至るまでにはかなりの打合せ、練習をしたはずであり、全体進行がきっちりしていて素早く、練習を積み重ねて本番に至ったのがよくわかる。すごいと思った。

在宅育児支援事業の2歳までの延長について全国でも先駆けの取り組みでどう変わってくるのか、今後も見守り、成果を期待したい。

教育長 在宅育児支援事業は、1年だけでなく2～3年後に事業が浸透してくると思う。

委員長 その他みなさんから質問、意見等ないか。ないようであれば、先に進んで日程第3にうつる。

日程第3 議案 第1号 区域外就学について

区域外就学の申立て 4件 認定件数 4件

日程第4 議案 第2号 平成28年度準要保護児童生徒の認定等について

申請児童生徒数 1名 認定児童生徒数 1名

3. その他

・特になし

4. 次回の開催日程 平成29年1月30日 午後1時30分～

5. 閉会宣言 (午前10時30分)